

ESDに関するユネスコ世界会議の成果と
「国連ESDの10年」で広がったESD実践者の提案をふまえて
関係省庁が民間団体との連携事業として開設した
官民協働のプラットフォーム

 **ESD活動支援センター**
Education for Sustainable Development

ESD活動支援センターのロゴマークでは、青色に「学び」、黄色に「活動」、森や自然を想起する緑色には「持続可能な社会」を象徴させました。この三色を配し、「人びとの学びと活動によって持続可能な社会を生み出し、育てる」というESDの考え方を表しました。また、E・S・Dの文字を使って卵から雛が生まれる様子を表現。青色と黄色を混ぜると緑色が生じるという「色の原理」も織り込んでいます。

交通アクセス



最寄駅

- 東京メトロ 銀座線・千代田線・半蔵門線「表参道駅」
B2出口から徒歩約10分
 - JR・東急東横線・京王井の頭線・東京メトロ副都心線「渋谷駅」
東口(宮益坂口)から徒歩約12分
 - 都営バス(渋88系統)「青山学院前」停留所から徒歩約2分
- ※ 青山通りから国連大学とオーバルビルの間を道に入り、東京ウィメンズプラザの前のエスカレーターで地下1階までお越しください。

ESD活動支援センター(全国センター)

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5丁目 53-67 コスモス青山 地下1階
TEL 03-6427-9112 FAX 03-6427-9113
E-mail contact@esdcenter.jp <http://esdcenter.jp>

ESD活動支援センターは、文部科学省と環境省により開設され、公益財団法人日本環境協会が運営しています。

持続可能な地域づくりと人づくりを推進する
ESD活動支援センター

ESD Resource Center of Japan



<http://esdcenter.jp>

ESD活動支援センターは
(全国センター)

全国8か所の地方センター及び地域ESD拠点とともに
ESD推進ネットワークを形成し
連携してESDを支援します。

4つの「はたらき」

- 1 情報の収集・発信**
研修、教材、アワード、政策、助成金等の情報を、ウェブサイト、SNS等で提供しています。また、メールや電話等による相談にも応じます。
- 2 支援体制の整備**
地方センターと連携し、地域の実践者のニーズに沿った支援プログラムの検討を行います。また、地域ESD拠点の形成・活動を支援します。
- 3 学び合いの促進**
ネットワークを育み、互いに学び合う場として「全国フォーラム」を開催します。
- 4 人材の育成**
実践者やコーディネーター、指導者の育成と、活躍の場づくりに取り組みます。また、ユースのキャパシティ・ビルディングを支援します。

3つの「つなぐ」

- 1 環境・開発・人権・平和・防災・消費・文化などの多様なテーマをつなぎます**
- 2 ESDを推進する人・組織・プログラムなどを地域をこえてつなぎます**
- 3 国連機関や海外の先進地域の動きなど国際的な情報をつなぎます**



Education for Sustainable Development
持続可能な開発のための教育

ESD推進ネットワークは

ESDの広がりと深まりを通じて
地域の諸課題の解決と教育の質の向上、
SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めます。

持続可能な社会を目指して



持続可能な開発目標(SDGs)

地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)
地域におけるESD活動の支援窓口として、地方センターや他の地域ESD拠点と連携して、ESD活動を支援したり、これからESDを始めようとする活動主体に働きかけます。地域コミュニティや学校区、市区町村、都道府県、広域ブロックなど様々な活動範囲を持つ組織・団体(教育関係、学術研究関係、メディア、企業、地方自治体、行政、その他)が、地域ESD拠点となり、得意分野を活かした支援やコーディネート、学び合いの場づくりを行います。

学校、地域、職場などで
ESDに取り組んでいる多様な実践主体
(ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている
多様な主体(潜在的な活動主体)

ニーズ・成果共有

ESDを広めるため、深めるための働きかけ・支援

多数・多様・重層的な
地域ESD活動推進拠点
(地域ESD拠点)

ニーズ・成果共有

連携・支援

ESD活動支援センター
地方センター(全国8か所)
+
全国センター

地方ESD活動支援センター(地方センター)
全国センターや地方自治体、地域ESD拠点等との連携のもとに、主に以下の機能を果たすことで、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。

1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等

北海道地方ESD活動支援センター
〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西5-11
大五ビル7階
TEL 011-596-0921

東北地方ESD活動支援センター
〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-2-23
仙台第2合同庁舎1階
TEL 022-393-9615

関東地方ESD活動支援センター
〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67
コスモス青山地下1階
TEL 03-6427-7975

中部地方ESD活動支援センター
〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-4-3
錦パークビル4階
TEL 052-218-9073

近畿地方ESD活動支援センター
〒540-6591
大阪府大阪市中央区大手前1-7-31
OMM5階
TEL 06-6948-5866

中国地方ESD活動支援センター
〒730-0011
広島県広島市中区基町11-10
合人社広島紙屋町ビル5階
TEL 082-555-2278

九州地方ESD活動支援センター
〒860-0806
熊本県熊本市中央区花畑町4-18
熊本市国際交流会館2階
TEL 096-223-7422

四国地方ESD活動支援センター
〒760-0023
香川県高松市寿町2-1-1
高松第一生命ビル新館3階
TEL 087-823-7181



ESD推進に取り組む
組織・団体と
協力・連携します。

協力団体

ESDは全国で、世界で取り組まれています

日本政府とNGOの共同提案から生まれた「国連ESDの10年」(2005-2014)は、世界中で展開され、日本国内でも、政府、学校、高等教育機関、NGO/NPO、企業等様々な主体がESDに取り組みました。国連は2015年からESD推進の枠組みとして「ESDに関するグローバル・アクション・プログラム(GAP)」を採択。日本政府も、「我が国におけるESDに関するGAP実施計画(ESD国内実施計画)」を策定し、ESD推進ネットワークの整備と運用を明記しました。

ESDはSDGs達成の鍵です

2019年、GAPの後継「持続可能な開発のための教育：SDGs実現に向けて(ESD for 2030)」を国連が承認。ESDがSDGs実現の鍵と位置づけられました。これを受け、日本政府は2021年、「第2期ESD国内実施計画」を策定、ESD推進ネットワーク等を活用した重層的なネットワークの強化を打ち出しました。

各地方センターについては<http://esdcenter.jp/regional>をご参照ください。

